

## ▶ 日本分析化学会 2025年度有功賞受賞

当社千葉ラボラトリーの桐谷健一、大阪ラボラトリーの金子弘の二名が日本分析化学会「2025年度有功賞」を受賞しました。いずれも30年以上にわたり分析実務に従事し、豊富な知見を活かしてお客様のご要望にお応えし、社会に貢献してきた実績を認めていただいたものです。

桐谷は、当社および関連会社にて国内外の工場操業に関わる分析業務に従事するほか、公害防止管理者・作業環境測定士の資格を取得して、職場労働環境のサンプリングや測定業務を担当しました。幅広い知識と経験により、分析法の設定や開発による工場立ち上げ支援・インフラ整備支援、製薬工場や設備におけるコンタミネーション評価に携わるなど様々な産業分野の発展に寄与いたしました。

金子は、分析装置およびカラムの開発を中心に従事し、お客様の分析法確立等の支援を行うことで作業効率向上のご期待にお応えしてまいりました。また、JASなど公定法の検討に参画し産業界の標準化に尽力しました。特に食品・飼料業界では、多くのお客様のご研究や

製品検査に粗タンパク質測定法とその分析装置を採用していただき、作業効率向上と安全かつ安定した製品製造に活用いただいております。

当社は、お客様に信頼されるパートナーを目指し、これからも研鑽してまいります。



千葉ラボラトリー 桐谷



大阪ラボラトリー 金子

# 主な投稿論文・口頭発表等

## 2025.5→2025.10

※所属名は投稿・発表当時のものです。

### 投稿論文

#### 【医薬分野】

医薬品と環境を考える ～その3 プロダクトライフサイクル シップと排水管理～  
高橋洋子\*1、武王空\*2、新藤正人\*3、長谷川あゆみ\*4 (\*1 株式会社分析センター、\*2 日揮㈱、\*3 株式会社機械製作所、\*4 小野薬品工業㈱)  
[PHARM TECH JAPAN 2025年6月号] (㈱じほう発行)、41 (8)、P 101-105 (2025)  
ISPE EHS COP の2023年度の活動「排水中の医薬品有効成分に関する調査」のうち、本稿では国際的な化学物質管理の枠組みの紹介と医薬品が水環境に放出される最後の皆となる排水処理技術について概説した。

#### 【マテリアル分野】

高熱伝導材料の熱物性評価技術～車載材料を中心とした分析事例～  
栗石拓也 (マテリアル事業部)  
[書籍]「高熱伝導・放熱材料の最新開発動向・最適調整と応用展開・今後の展望」(㈱ AndTech 発行)、第4章 第1節 第4項、P145-157 (2025)  
放熱材料の熱物性評価技術 (熱伝導率、熱膨張率、硬化収縮率、放射率) の測定概要と一般流通材料の測定事例を記載し、当社の特徴的な熱マネジメント技術の紹介を行った。

#### 【健康・安全分野】

医療機器のESL (Extractables & Leachables: 抽出物・浸出物) 試験と毒性学的リスクアセスメント  
嶋田いつか\*1、浦野のり子\*1、福永辰也\*2、中澤晶子\*1 (\*1 健康・安全事業部、\*2 千葉ラボラトリー)  
[書籍]「欧米規制/ICH Q3E をふまえたESL (Extractables & Leachables) 試験の分析手法: 安全性評価 / 管理値とリスク管理」(サイエンス&テクノロジー編発行)、第3部 第9章 P108-127 (2025)  
医療機器の生物学的安全性評価プロセスにおいて、評価の裏付けや動物試験の一部省略において有用と考えられている、医療機器から溶出する化学物質の毒性学的リスク評価の分析試験やリスク評価の方法についてガイダンスをもとに解説したものである。

### 口頭発表等

#### 【医薬分野】

GalNAc 修飾 siRNA の 2D-LC/MS による不純物分析  
○赤塚隆太\*1、岸 宏\*1、長野裕夫\*1、乙丸有香\*1、井上貴雄\*2、川上純司\*3、小比賀 聡\*4 (\*1 株式会社分析センター、\*2 国立医薬品食品衛生研究所、\*3 甲南大学 FIRST、\*4 大阪大学大学院 薬学研究科) 日本核医薬学会第 10 回年会 (神戸国際展示場)、2025年7月1日

#### ラボラトリー)

日本エアソロジー学会主催「第42回エアソロジー科学・技術研究討論会」(姫路商工会議所)、2025年8月29日

テクノロジー編) \*21 ㈱日本総合科学、\*22 ㈱日吉、\*23 公益財団法人 ぶくおか公衆衛生推進機構 環境科学センター、\*24 三浦工業㈱ 三浦環境科学研究所、\*25 ユーロフィン日本環境㈱ 第4回環境化学物質合同大会 (山形テラス)、2025年7月17日

クラベ病の拡大新生児マスキリング 2 次検査としての乾燥濾紙血中サイコシン濃度測定法の確立

○重山拓摩\*1、斎藤 葵\*1、岡嶋孝太郎\*1、酒本和也\*2、瀧崎考史\*3、成田 綾\*4、酒井規夫\*4 (\*1 株式会社分析センター、\*2 大阪市環境保健協会、\*3 大阪公立大学、\*4 医誠会国際総合病院) 第52回日本マスキリング学会学術集会 (ウイングあいち)、2025年10月3日

多孔性材料の平均構造解析が導く機能向上へのアプローチ  
末広省吾 (愛媛ラボラトリー)  
第22回Spring-8産業利用報告会 (大阪科学技術センター)、2025年9月3日

QSAR Toolbox の概要説明、デモンストレーションおよび演習  
河合里美 (健康・安全事業部)  
安全性評価研究会主催第3回ロードクロス勉強会 (ニチチン(株)東京)、2025年9月6日

細胞外小胞 (EV) の産業利用に向けた品質特性解析の検討  
○寺井織枝、田浦映恵、北中淳史、丸谷曜子、岡嶋孝太郎 (大阪ラボラトリー)

第12回日本細胞外小胞学会学術集会 (千里ライフサイエンスセンター)、2025年10月14日

チタン酸バリウムスラリーの分散性と分散剤吸着メカニズムの解明  
○中西祐司\*1、島森拓士\*1、松本実香\*1、萩原 睦\*1、高橋永次\*1、中島秀朗\*2、藤井香里\*2、岡崎俊也\*2 (\*1 株式会社分析センター、\*2 国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

(公社) 日本セラミックス協会 第38回秋季シンポジウム (群馬大学)、2025年9月19日

米国の食品接触材料規制の基礎  
吉村千鶴 (健康・安全事業部)  
化学工業日報社主催海外法規制セミナー (オンラインセミナー)、2025年9月18日

Development of a rapid, quantitative and robust high-throughput assay for detecting both soft and hard reactive metabolites using CysGlu-Dan.

○塩田優子、橋本有樹、渡邊健一、只野 純 (大阪ラボラトリー) 日本薬物動態学会第40回年会 (京都市勧業館「みやこめっせ」)、2025年10月21日

セラミックススラリーの材料選定に対するハンセン溶解度パラメータの指標化検討  
○島森拓士\*1、中西祐司\*1、松本実香\*1、萩原 睦\*1、高橋永次\*1、中島秀朗\*2、藤井香里\*2、岡崎俊也\*2 (\*1 株式会社分析センター、\*2 国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

(公社) 日本セラミックス協会 第38回秋季シンポジウム (群馬大学)、2025年9月19日

欧州の食品接触材料規制の基礎  
米原 史 (健康・安全事業部)  
化学工業日報社主催海外法規制セミナー (オンラインセミナー)、2025年9月18日

#### 【マテリアル分野】

水平リサイクルに向けた廃車より回収したシートベルトウェブの製造年分布と汚れ・劣化状態の分析 (第1報)  
○福田 猛\*1、小林正俊\*1、小川留美\*2、藤原 豊\*2 (\*1 ㈱本車技術研究所、\*2 ㈱住化分析センター)  
自動車技術会 2025年春季大会 (パシフィコ横浜)、2025年5月21日

【健康・安全分野】  
職業曝露限界値 (OEL) の設定について  
中澤晶子 (健康・安全事業部)  
2025年 ISPE 日本本部年次大会 (タワーホール船堀 (東京))、2025年5月30日

異物問題への対処法～分析技術の活用とオリジナルライブラリ構築～  
末広省吾 (愛媛ラボラトリー)  
サイエンス&テクノロジー編主催セミナー (オンラインセミナー)、2025年10月24日

#### 静電気危険の評価と対策

太田 潔 (愛媛ラボラトリー)  
溶接責任者会主催第31回溶接責任者会総会 (大阪中央電気倶楽部ホール)、2025年7月16日

新規水中多成分 PFAS 一斉分析法のインターラボラトリーテストに関する報告 その I

○股 照洙\*1、谷保佐知\*2、秦 浩司\*1、中野 暁\*1、城代 航\*3、小野純子\*4、若佐奈美\*5、醍醐ひみ\*6、岩田敬明\*7、河野洋一\*8、橋 拓也\*9、室谷佑京\*10、金子蒼平\*11、天日美薫\*12、榎本幹司\*13、高原 玲華\*14、古川 幸\*15、内川綾乃\*16、大脇千泉\*17、萩野裕基\*18、木村辰徳\*19、光田 隼\*20、北殿康治\*21、久保明日香\*22、長谷川 淳\*23、島屋雄雄\*24、野島智也\*25、細谷幸恵\*1、亀山真由美\*1 (\*1 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構、\*2 国立研究開発法人 産業技術総合研究所、\*3 アジノテクノロジ(株)、\*4 大阪府立環境農水産総合研究所、\*5 ㈱島津製作所、\*6 ㈱島津テクノリサーチ、\*7 日本ウォーターズ(株)、\*8 一般財団法人 日本食品分析センター、\*9 公益財団法人ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター、\*10 ㈱環境管理センター、\*11 ㈱環境総合リサーチ、\*12 一般財団法人 九州環境管理協会、\*13 栗田工業㈱、\*14 ジーエルサイエンス(株)、\*15 ㈱住化分析センター、\*16 中外テクノス(株)、\*17 一般財団法人 東海技術センター、\*18 ㈱東京久栄、\*19 東北緑化環境保全(株)、\*20 日鉄

### ㈱住化分析センター主催セミナー

静電気危険の評価と対策  
太田 潔 (愛媛ラボラトリー)  
㈱住化分析センター主催オープンセミナー (NHK 名古屋放送センター)、2025年10月8日

熱物性評価の技術紹介  
小川留美 (千葉ラボラトリー)  
㈱住化分析センター主催オンラインセミナー (オンデマンド配信)、2025年10月8日

硬化収縮率・応力評価技術の紹介  
瀬尾亮平 (千葉ラボラトリー)  
㈱住化分析センター主催オンラインセミナー (オンデマンド配信)、2025年10月8日

真空アウトガス評価技術のご紹介  
小谷智弘 (千葉ラボラトリー)  
㈱住化分析センター主催オンラインセミナー (オンデマンド配信)、2025年10月22日

各種製品に混入する異物の特徴と分析技術を活用した処方末広省吾 (愛媛ラボラトリー)

TH 企画セミナーセンター主催セミナー (芝ラザパビル (東京) およびオンラインセミナー)、2025年8月8日

半導体製造環境や環境測定用の気中酸塩基捕集カートリッジ [BremS®] の紹介  
○安倍聡彦、齋藤佳美、小俣美都子、吉田寧子、飯川玲子 (千葉